

**参加者 2 万人を誇る国内最大規模の医学会、市内経済波及効果は約 29 億円^{※1}
震災復興にも支援を頂き、神戸と縁の深い日本消化器関連学会週間（JDDW）の
開催 30 回を記念した植樹をコンベンションビューローがサポートさせて頂きました**

日本消化器関連学会週間（以下 JDDW）は参加者 2 万人を集める国内最大規模の医学会。定期的に神戸でも開催いただき、神戸とは大変深い結びつきのある学会です。

6 月 22 日には JDDW30 回目の開催を記念した植樹が、神戸コンベンションビューローのサポートのもと、神戸ポートピアホテルで行われました。

JDDW は参加者 2 万人を集める消化器関連の 5 学会が一堂に会する国内最大規模の医学会であり、開催時の神戸市内への経済波及効果は約 29 億円^{※1}とされています。1993 年の第 1 回大会を皮切りに過去には 13 回の開催、さらに阪神・淡路大震災後の翌年には復興支援のために神戸で実施いただくなど、神戸と深い結びつきがある学会であることが特徴です。

6 月 22 日には日本消化器関連学会機構理事長・下瀬川 徹先生と、JDDW30 回記念事業委員会準備委員長である大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学の竹原 徹郎先生が参加し、JDDW30 回目の開催を記念した植樹を実施。毎年学会が開催される秋のシーズンに開花するキンモクセイとサザンカを、神戸ポートピアホテルのエントランス横に植えました。第 31 回大会（2023 年）～第 33 回大会（2025 年）も神戸開催が決定しており、学会時のシンボルとなりそうです。

※1：参加者 2 万人、4 日間の医学会の市内経済波及効果／神戸市による試算フォーマットによるコロナ前の数字



左：下瀬川先生、右：竹原先生

1993 年の第一回大会を神戸で開催してから今日に至るまで、JDDW は大きく発展しましたが、それを育てていただいたのが神戸だと思っています。震災後は何かご支援ができればと、神戸を中心に開催して参りました。今回は JDDW30 回開催の節目に記念植樹をさせて頂きましたが、これからも共に大きく成長できるように願っております。そういった意味で、今回の植樹は大変思い出深い行事となりました。お天気にも恵まれた中で行うことができ、とてもうれしく思います。

JDDW には 2 万人以上の消化器関連の先生方が全国から集まります。参加者と共にこちらに植樹させて頂きました木々の成長を見ながら、これからの JDDW の歴史をこの神戸で築いていきたいと思っています。



日本消化器関連学会機構理事長
下瀬川 徹 先生



30 回目の開催、誠にありがとうございます。節目節目で神戸を開催地に選んでいただき、私どもも非常にうれしく思います。私の中で特に印象的な出来事は、震災翌年となる 1996 年に「なんとか力になりたい」と、神戸を開催地に選んでいただいたことです。神戸が大変辛い状況にあり、かつ道路やバスなど交通網が整備されていない中でも、全国から 1 万人以上の方に参加していただき、経済の立て直しに大きなお力添えをいただきました。本当にうれしく、そのご恩を忘れることはありません。その時から深いお付き合いをさせていただいておりますが、今回の記念植樹でも大切な思い出が一つ増えました。来年の神戸開催を楽しみにお待ちしております。

神戸観光局・MICE 誘致部（神戸コンベンションビューロー）
部長 黒田 美香

【JDDW と神戸のつながり】

JDDW は、1993 年に第 1 回大会を神戸で開催以降、第 2 回（1994 年）、第 4 回（1996 年）、第 8 回（2000 年）、第 13 回（2005 年）、第 15 回（2007 年）：国際会議とジョイント開催、第 20 回（2012 年）、第 22 回（2014 年）第 24 回大会（2016 年）：国際会議（APDW）とジョイント開催、第 26 回大会（2018 年）、と継続的に神戸で開催いただいております。

第 3 回大会（1995 年）は、本来は神戸開催の予定でしたが、震災の影響で急遽、開催地を変更、横浜での開催となりました。しかし、翌年の第 4 回大会（1996 年）の開催地選定にあたっては、会員の先生方から「不便でも神戸で開催し、震災復興の援助をしよう」との声が上がり、神戸での開催となった、という経緯があります。

また、20 周年の節目となる第 20 回大会（2012 年）も神戸で開催され、以降、神戸コンベンションビューローの誘致努力が実り、2 年に 1 度は神戸開催が定着している状況です。これは、20,000 名の参加者を受け入れる都市として神戸が適しているという評価をいただいていることに加えて、我々ビューローが JDDW 理事長をはじめ理事メンバーや事務局と継続的な信頼関係を構築してきた結果です。なお、第 26 回大会（2018 年）～第 29 回大会（2021 年）の 4 年連続で神戸開催をしていただいたほか、第 31 回大会（2023 年）～第 33 回大会（2025 年）の神戸開催も決定しています。